

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立若松工芸舎	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市若松区二島五丁目 1 8 番 9 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労継続支援（B型）、自立訓練（生活訓練）、生活介護）の管理運営		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																												
1	<p>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。</p> <p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 ・施設外の就労の場を確保するなど、新規作業委託の受託に努め、工賃実績 13,137 円を達成している。（目標 11,838 円） ・送迎サービスの拡充や、ニーズの高い生活介護利用者への入浴サービスの拡充を図っており、施設利用率は 86% となる。（目標値 97%） ・事業所紹介 DVD の制作や広報紙を毎月（170 部）発行し、地域や関係機関に配布するほか、ホームページの更新を年間 5 2 回行うなどの広報活動を実施している。 <p>【利用率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】H22年度(更新前)</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>95</td> <td>99.3</td> <td>91.9</td> <td>86.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【月平均工賃額（就労継続B型）】 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>11,200</td> <td>11,838</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9,800</td> <td>12,535</td> <td>13,137</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 利用者の満足度</p> <p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>④ 利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。</p> <p>⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度	目標値	—	95	102	97	実績	95	99.3	91.9	86.1	年度	H23年度	H24年度	H25年度	目標値	—	11,200	11,838	実績	9,800	12,535	13,137
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度																								
目標値	—	95	102	97																								
実績	95	99.3	91.9	86.1																								
年度	H23年度	H24年度	H25年度																									
目標値	—	11,200	11,838																									
実績	9,800	12,535	13,137																									

[所見]

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、84%以上となっており、利用者の満足度は高いものとなっている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・行事やレクリエーション活動には利用者の自己決定、自己選択の幅を設け、参加しやすく配慮されるとともに、利用者による実行委員会の設置など、利用者の意見を反映する体制となっている。
- ・利用者へのサービス内容や行事説明に、視覚的な工夫をとり入れるなど、利用者個々の状態や家族等に配慮した情報提供等の取り組みに努めている。
- ・成年後見や他の福祉サービスの利用等についての相談支援、バスハイクや民間企業の指導による釣り体験等のレクリエーション活動や、ウォーキングやストレッチ等の健康促進活動を実施し、利用者の日々の生活の充実や生きがいをづくりにも努めている。
- ・生活介護について、創作的活動のほか、社会参加や生きがいをづくりを中心に行い、B型では、新規に清掃作業やレタスの水耕栽培を行うなど、利用者が様々な活動を体験できるようメニューを構成しサービス提供を行っている。

施設の総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	70	80	80
実績(生活介護)	79.1	80.3	84.3
実績(就労支援)	84.6	85.8	89.7

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

- ・委託業務における入札の実施や複数の見積りを徴収することによる経費の削減に努めている。

【光熱水費】

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	3,120	2,880	3,144
決算	2,541	2,614	2,580	2,863

(2) 収入の増加
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。
[所見] ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。
[所見] ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。 ・職員の業務及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行っており、外部研修の活用等により、職員の資質・能力の向上を図っている。 ・リフレッシュ活動の講師を地域の方をお願いをしたり、若松自治区会主催の地域行事に参加し、演奏や活動の発表など地域住民の方との交流を行っている。また、地区社会福祉協議会の主催する一人暮らしの高齢者を対象とした「いきいきサロン」へボランティアとして参加するなど、交流を図りながら障害の理解促進にも努めている。 ・職場体験や職場実習として、2名の実習生を受け入れ将来の社会福祉人材の育成などに貢献している。また、体験実習として、特別支援学校等の生徒を25名受け入れ、生徒の今後の進路決定の一助を担っている。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
[所見] ・利用者の個人情報保護や事故防止等のマニュアル整備や人権、虐待防止について、

チェックリストによる支援内容の見直しや職員間の討議を行うなど、適切な運営に努めている。

- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取組みが行われている。
- ・避難訓練、AED研修会、防災情報の収集など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。

【総合評価】

〔所見〕

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用者の満足度も非常に高いものとなっている。

また、就労継続支援（B型）では、施設内利用者の目標工賃を達成している。
職員の資質・能力向上について、目標管理がなされ計画的に行われている。

〔今後の対応〕

現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施、また、利用率の向上へ向けた取り組みに期待する。